特例措置様式

主任技術者兼務承認願

　　年　　月　　日

所 　在 　地

商号又は名称

代表者職氏名

ＴＥＬ

　下記のとおり、現場に配置する専任を要する主任技術者について、他の工事と兼務させることを承認願います。

記

**兼務を希望する工事**

工事１

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開札予定日 | 　　　　年　　月　　日 | 発注業種 |  |
| 発注機関 |  |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  | 請負金額又は予定価格 |  |
| 工期 | 　　　　　　年　　　月　　　日　～　　　　　　　年　　　月　　　日 |
| 現場代理人 |  | 生年月日 |  |
| 主任技術者 |  | 生年月日 |  |

工事２

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開札予定日 | 　　　　年　　月　　日 | 発注業種 |  |
| 発注機関 |  |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  | 請負金額又は予定価格 |  |
| 工期 | 　　　　　　年　　　月　　　日　～　　　　　　　年　　　月　　　日 |
| 現場代理人 |  | 生年月日 |  |
| 主任技術者 |  | 生年月日 |  |

※未契約の場合は、「開札予定日」及び「予定価格」を記入し、工期の始期は空白とすること。

※松山市以外の工事を記載する場合は、発注機関欄に内諾を得た部署、担当者、連絡先を記入すること。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（裏面に続く）

**工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事の理由**

**〈例〉 相互に土量配分計画の調整を要するため。**

**２つの現場の資材を一括で調達し、相互に工程調整を要するため。**

**相当の部分の工事を同一の下請業者で施工し、相互に工程調整を要するため。**

**兼務箇所図**

|  |
| --- |
|  |

※）地図等を使用し、枠内に双方の工事箇所を記載するとともに、現場相互の最も近い地点の直線距離を明記すること。

※）兼務箇所図は別途添付しても差し支えないものとする。